

平成30年度 玉村町立南小学校 学校評価一覧表①

羅 針 盤				アンケート(%)		第1回点検・評価		
評価対象	評価項目	方策	保護者	児童	自己評価	後期に向けての改善策		
I 保護者等との連携	保護者への情報提供	1. 学校や児童の様子を保護者へ伝え、理解を得ていますか。	・ホームページの充実とPR ・読まれる各種通信の作成と発行		97	A		
	連携のための環境づくり	2. 保護者は学校の諸行事に参加していますか。	・学校公開、学級懇談会の充実		81	B	・PTAセミナーの内容等を魅力的なものや必要度の高いものに工夫して、多くの人の参加を促す。 ・各種通信等においても、より積極的に情報を発信し、参加を促す。	
	保護者への対応	3. 保護者は学校に連絡や相談がしやすいと思っていますか。	・教育相談の充実 ・保護者へのきめ細かな対応		77	B	・今後も保護者へのきめ細やかな対応に気を配り、相談しやすい学校や、人間関係づくりに努めていく。	
II 確かな学力	わかる授業	4. 児童は授業が分かり、満足感や達成感を味わっていますか。	・自力解決、学び合いを取り入れた問題解決的な授業作り ・教師の授業力の向上			95	B	・授業改善に組織的・継続的に取り組み、互いの授業を高め合う研修に努め、その実践化を図る。 ・学習規律の確立のため、授業中のルールを明確にし、実践を進める。
	基礎・基本の定着	5. 児童に教科等の基礎・基本が確実に身に付いていますか。	・個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・「定着の時間」の充実 ・「確認テスト」の実施 ・長期休業中の補充指導の充実			92	B	・全国学力学習状況調査の結果から明らかになった課題の解決に向けた授業改善に努める。 ・県・国等から発信された評価資料や授業改善アイデア集等を積極的に活用する。 ・日常の授業における「めあての明確化」「振り返りの機会の設定」を徹底する。
	評価	6. 児童の学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしていますか。	・見取りの工夫による指導と評価の一体化				A	
	学習習慣	7. 家庭で自主的に学習や読書をする習慣が児童に身に付いていますか。	・児童の実態に応じた家庭学習の推進		66	86	C	・授業と家庭学習を接続するために、良い取り組みは具体的にほめて紹介する等、課題の出し方や、評価方法を工夫する。 ・家庭学習充実期間を推進し、学校・家庭双方で児童の取り組む意欲を高める。
III 豊かな心	あいさつ・言葉遣い	8. 進んであいさつをする児童が育っていますか。	・子ども達による挨拶運動や地域や家庭と連携を図った挨拶運動の実施 ・教職員側からの積極的な声掛け		73	92	B	・教員が進んであいさつをしたり、話しかけたりしてあいさつしやすい雰囲気をつくる。 ・道徳の礼儀と関連付けたり、学級活動で話し合ったりしながら、改善に向けた指導を継続する。
		9. 時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童が育っていますか。	・道徳教育、学級活動の充実		69	91	B	・授業中は敬語で質問したり、発表させたり、休み時間とその他の場面で、教員も言葉を使い分けたりするよう心がける。 ・学級委員会によるあいさつ運動をこれからも積極的に取り入れる。
	いじめのない温かな人間関係	10. 児童は楽しく学校へ通っていますか。	・オアシス活動による異学年交流 ・あたたかな学級作り		98	96	A	
		11. いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	・多面的な児童理解に基づきいじめの早期発見、早期対応 ・児童によるいじめ防止の取組				A	・学級委員会を中心とした児童主体のいじめ防止活動を一層充実させる。
		12. 相手の立場に立ってものごとを考えることができる児童が育っていますか。	・人権週間の充実、みなみのポストの活用 ・「できます活動」の推進		82		A	
	学校や家庭のルール	13. 学校のきまりや約束を守って生活する児童が育っていますか。	・毎月の学校生活アンケートの実施		94	93	B	・学級委員会による啓発や、クラスで守られていないことを再確認する等、児童・教員双方で意識を持って取り組んでいく他、他の委員会で児童に問題点や改善点を考えさせ、集会、実践などを通して、児童の意識を高め、自発的に改善していくようにする。
		14. 各教員は児童の間違った行動について適切に指導していますか。	・生徒指導についての共通理解と同一歩調による指導				A	
15. 児童は家族の一員としての役割をもって生活していますか。		・「ルールブック50」の有効活用 ・「わが家のルール(約束)」づくりの推進		76	78	C	・家庭学習や携帯・スマホの使い方を含めて、「わが家のルールづくり」についての啓発を行う。 ・教育相談や懇談会等の機会を通して、保護者への働きかけを一層充実させる。	
IV 健康・体力	基本的な生活習慣(家庭教育)	16. 児童は毎日朝食をとって登校していますか。	・保健日より、生活リズム等を活用した授業等を通して早寝早起き朝ごはんの重要性の啓発		96	96	A	
		17. 児童は十分な睡眠をとって生活していますか。	・保健日より、生活リズム等を活用した授業等を通して早寝早起き朝ごはんの重要性の啓発		89	74	B	・早寝早起き朝ごはんの徹底をするとともに、保護者、児童へ睡眠の重要性を周知させ、学校保健委員会などで呼びかける。 ・げんきカードや保健日よりを生かして、無駄な時間を過ごしていないか振り返り、生活リズムを考えさせるようにする。
	体力づくり	18. 健康で体力のある体をつくらうとする児童が育っていますか。	・体育集会の計画的な実施 ・体力テストをもとにした目標作り		84	79	B	・休み時間に外遊びを学級単位で実践したり、子どもたちに声をかけて遊ばせたりする。 ・保護者、児童に運動の重要性を周知し、呼びかけ、外で遊ぶ時間を設ける。
V 安全確保・施設整備	学校の施設設備	19. 学校の施設・設備は安全ですか。	・「もしかしたら意識」や児童の目線に立った安全点検		90		A	
	学校の安全対策	20. 交通事故防止、火災・地震・不審者対策など、安全教育の徹底を図っていますか。	・避難訓練をもとに機能する危機管理マニュアルの改善 ・交通安全教室や防犯教室等の実施		88	99	A	・防災教育を各学年で計画的、系統的に実施することにより、児童の防災教育の一層の充実を図る。
	地域の安全対策	21. 学校・家庭・地域は連携して、交通安全指導や通学路の点検・パトロールを行っていますか。	・南小学校通学路安全確認マップの見直し ・PTA、地域と連携したパトロールや見守りタイムの実施		84		A	
VI 進路・生き方	夢や希望	22. 学校はいろいろな人や職業と出会う機会を計画的に設けていますか。	・年間指導計画に基づくキャリア教育の実践(よいところ見つけ、自分の長所)		72		B	・教育課程の中に意図的に位置付けている内容や活動の意義を再度確認し合い、夢や将来の生き方につながる授業を効果的に実践する。
		23. 将来の夢や希望について考えられる児童が育っていますか。	・学年、学級だよりや懇談会等での啓発			86	B	・各学級の担任が折を見て、将来の夢について道徳、特活などで授業を設けたり、話す機会を設けたりする。 ・将来の夢や希望について考える機会を年間指導計画に取り入れ、意図的・計画的に実践する。